

埼玉生団連 第3回会合 開催



▲ 柿沼 トミ子 会長
(埼玉県地域婦人会連合会 会長)



▲ 川野 幸夫 副会長
(株式会社ヤオコー 代表取締役会長)

2023年10月27日(金)15:00～17:00 TKP大宮駅西口カンファレンスセンターにて、埼玉生団連第3回会合を開催いたしました。9企業・団体 13名の会員の皆様にご参加いただきました。

第一部の勉強会では、公益財団法人 流通経済研究所 上席研究員 石川友博氏を講師にお招きし、「食品ロス発生の原因となっている商慣習について」と題し、講演を行っていただきました。

第二部では、会員の皆様より、食品ロス削減に対する自社でのお取り組みをご紹介いただくなど、活発な意見交換が行われました。



▲ 石川 友博 氏
(公益財団法人 流通経済研究所 上席研究員)

【講演 概要】

- 納品期限を1/3から1/2に緩和する実証実験を行った結果、製造業では未出荷廃棄の削減、流通では納品期限切れによる廃棄の削減が確認できた。店頭で消費者ヘイインタビューを実施しても、納品期限が緩和されていることを感じた消費者はおらず、販売への影響はないと思われる。
- 賞味期限の大括り（年月日表示から年月表示へ）も進んでいる。賞味期限逆転リスクが低減し、柔軟な在庫移動が可能となったことにより、製造業での食品ロス削減効果が生まれている。

【出席者からの主なご意見】

- 自社でも食品ロス削減に向けた様々な工夫や取り組みを推進している。取引先の協力も得て推進することで効果が出ている。
- 日本の消費者は、品質に対する要求が高く、それが食品ロスにつながっている側面があるのではないかと。食料自給率が低い日本においては、企業と消費者が一体となって食品ロス削減に向けて取り組みを進めていく必要があり、生団連から消費者への意識喚起活動にも期待したい。